取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

DIGITAL

CS/BS-IF・UHF・VHF/FM・HF混合・分波器

屋内用CS/BS-IF[1032～2610MHz]とUV/HF[10～770MHz]との混合分波用

MC0001Y

製品の特長

- CS/BS帯域とUHF・VHF・HF帯域とを混合、または分波します。
- 10～2610MHzの広帯域にわたりフラットな周波数特性です。
- 電磁妨害(EMI)排除能力は、100dB（標準値）を確保しています。
- 小形のダイカスト製ケースで耐久性にすぐれています。
- CS/BS入力・出力端子間（DC15V、0.8A以下または、AC30V、1A以下）通電仕様です。

安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告 この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

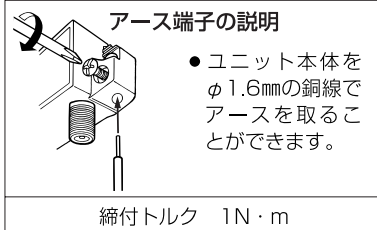
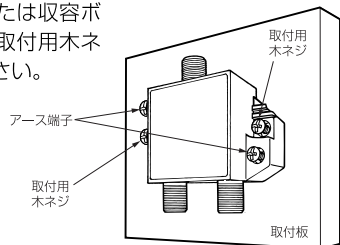
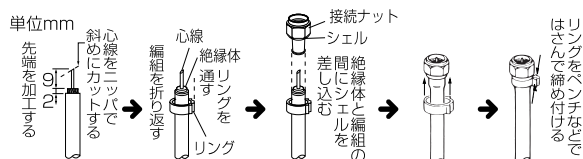
- この製品は屋内専用です。この製品を屋外で使用したり、風呂場や洗い場など水がかかる場所や、水などの入った容器の近くなどで使用しないでください。故障の原因となります。また、同軸ケーブルに電流が流れている場合は、火災・感電の原因となります。

- この製品を調理台の付近など高温になる場所で使用しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。

- この製品に接続する同軸ケーブルには、テレビ電波以外に電流が流れることがあります。同軸ケーブルなどを傷つけたり、破損したり、無理に曲げたり、ねじったり、心線と編組を接触させないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っ張ったりしないでください。火災、感電の原因となります。

- この製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、途中には通電形機器以外は挿入しないでください。回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。もし、通電形機器を挿入する場合は、通電端子をよく確かめてお使いください。

取付方法

図のように、板壁または収容ボックスの取付板に、取付用木ネジで取り付けてください。

F-5接栓（付属品）への同軸ケーブル加工方法（5C相当ケーブル用）

- 同軸ケーブルの先端を加工する場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は絶対に接触しないようご注意ください。

使用上のご注意

- 通電する場合は、通電端子を間違えないように注意して接続してください。通電できる電流容量はDC15V・0.8A以下またはAC30V・1A以下です。必ずこの電流容量以下でご使用ください。
- CS/BS-IF帯を伝送する場合、F形接栓は、C15形で、ケーブルの種類に適合する接栓（別売）をご使用ください。（5C相当低損失同軸ケーブルの場合F-5SN接栓、4C相当低損失同軸ケーブルの場合F-4SN接栓）
- 接栓は、接続ナットを2N・mで締め付けてください。（2N・mを越えるトルクでは締め付けないでください。）

規格特性

使用周波数（MHz）	インピーダンス（Ω） 入力（出力）	出力（入力）	VSWR（以下）	通過帯域損失（dB以下）	阻止帯域減衰量（dB以上）
10～222	75（F形）	75（F形）	1.5	0.5	25
222～770			1.6	1.3	20
1032～1489			2.0	1.7	20
1489～2150			2.0	1.8	20
2150～2610			2.5	2.5	20

※規格は改良により変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
※質量：65g

外形寸法図

（単位：mm）

※この製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として処理してください。

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記をご利用ください。

カスタマーセンター TEL.(078)682-0455
受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜・日曜・祝日および夏季・年末年始休暇は除く）

ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

・札幌支店 TEL.(011)822-1251㈹
・旭川出張所 TEL.(0166)37-5830㈹
・東北支店 TEL.(022)243-2141㈹
・盛岡出張所 TEL.(019)636-1581㈹
・郡山出張所 TEL.(024)921-7131㈹
・東京支店 TEL.(03)3526-5402㈹
・東京東出張所 TEL.(03)5654-9881㈹
・多摩営業所 TEL.(042)572-4911㈹
・横浜支店 TEL.(045)651-2557㈹
・北関東支店 TEL.(048)652-3311㈹
・宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100㈹
・新潟営業所 TEL.(025)276-2166㈹
・茨城営業所 TEL.(029)826-5341㈹
・千葉支店 TEL.(043)253-1121㈹
・静岡営業所 TEL.(054)281-0141㈹
・浜松営業所 TEL.(053)461-6885㈹
・中部支店 TEL.(052)919-6531㈹
・松本営業所 TEL.(0263)27-7801㈹
・豊橋営業所 TEL.(0532)57-2133㈹
・三重出張所 TEL.(059)226-1643㈹
・金沢支店 TEL.(076)261-9988㈹
・富山営業所 TEL.(076)422-7878㈹
・大阪支店 TEL.(06)6304-5651㈹
・堺営業所 TEL.(072)278-5311㈹
・京都営業所 TEL.(075)382-6141㈹
・神戸支店 TEL.(078)579-8550㈹
・姫路営業所 TEL.(079)283-5920㈹
・広島支店 TEL.(082)237-5331㈹
・岡山営業所 TEL.(086)245-2948㈹
・山陰出張所 TEL.(0853)24-2343㈹
・高松営業所 TEL.(087)868-1222㈹
・松山営業所 TEL.(089)925-3826㈹
・福岡支店 TEL.(092)541-0168㈹
・北九州営業所 TEL.(093)922-6556㈹
・長崎出張所 TEL.(095)842-0780㈹
・大分営業所 TEL.(097)504-7799㈹
・熊本営業所 TEL.(096)325-0711㈹
・南九州営業所 TEL.(099)267-8211㈹
・沖縄営業所 TEL.(098)874-6202㈹

DXアンテナ株式会社
本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001（代）　東京支社/〒101-0023 東京都千代田区神田松永町19番地 秋葉原ビルディング8F TEL.(03)3526-6327（代）
（2010年9月現在）

4392-3

- 万一内部に水などが入った場合は、まずこの製品に接続している電気製品などの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは工事店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。感電やけがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となります。

- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにこの製品に接続している電気製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙がでなくなるのを確認して販売店もしくは工事店に修理をご依頼ください。

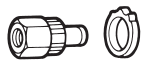
- 雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。
  感電の原因となります。

- 高所など足場の悪い場所で設置作業をする際は十分注意してください。
  転倒などでけがをする場合があります。

- 取り付けネジ、ボルト、接栓などに、締め付け力（トルク）の指定がある場合は、その力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。また、不安定な場所に設置しないでください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。

お取扱いの前に

- 取付作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- この製品は屋内取付専用です。屋外に設置する場合は、必ず防水・防雨処理を施した収容箱などに収容してください。
- この製品は通電形で、ブースタやCS/BSアンテナなどを動作させるための電流を流すことができますが、必ず決められた電流容量内でご使用ください。
- 電源の供給は、すべての同軸ケーブルが完全に接続されていることを確認した後、行なってください。
- 使用時、異常が生じた場合は、ただちに通電を止め、原因を確かめてください。

各部の名称

DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は、(社)電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ、UHFアンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

使用例

この製品は混合器、分波器のどちらでも使用できます。

混合器として使用する場合

〈衛星放送〉 〈一般のテレビ放送〉

BS・110度CSアンテナ
AC100V
ブースタ
※ VHFアンテナ
AC100V
ブースタ
UHFアンテナ
DC+15V
CS/BS-IF入力
UHF・VHF入力
MC0001Y
CS/BS-IF+UHF・VHF出力
CS/BS-IF・UHF・VHF4分配器
テレビコンセント
分波器
CS/BS
UV
TV

共同受信システムでは、施設の規模や伝送方式の違いによって、このほかに何種類もの方法が考えられます。
詳しくは販売店もしくは工事店にご相談ください。

この使用例の場合、TVのCS/BSアンテナコンバータ用電源は「切」に設定してください。

※VHFアンテナは地上デジタル放送のみ受信する場合やアナログ放送終了後は必要ありません。

分波器として使用する場合

※集合住宅の場合は、TVやHDDレコーダのCS/BSアンテナコンバータ用電源は「切」に設定してください。